

2

将来設計(キャリアプラン)と準備について

卒業後の進路希望について..... 13

約5割が民間企業への就職を希望している

民間企業と回答した学生が47.4%と約半数であり、大学院への進学(12.1%)、公務員(11.1%)に比べて民間企業を希望する学生が多いことがわかります。2009年度は41.7%、2010年度は45.9%と近年民間企業への就職希望は増加の傾向にあります。

キャリアプランについて..... 14

将来の進路を決めるのは大学に入ってからが多い

学生が進路を考え始めた時期は、大学に入ってからが45.7%と最も多く、次に高校生の頃からが、28.2%となっています。大学におけるキャリアプランの形成が人生を設計するうえで重要なことが分かります。

進路についての不安..... 15

進路について不安に思う学生が多い

「志望する進路がしぼりきれない」を選択した学生が32.6%、志望する進路先に進む能力がない」が31.4%と、多くの学生が不安を抱えていることがうかがえます。

また、進路についての不安は3年生をピークに学年が上がるにつれ増加する傾向にあります。

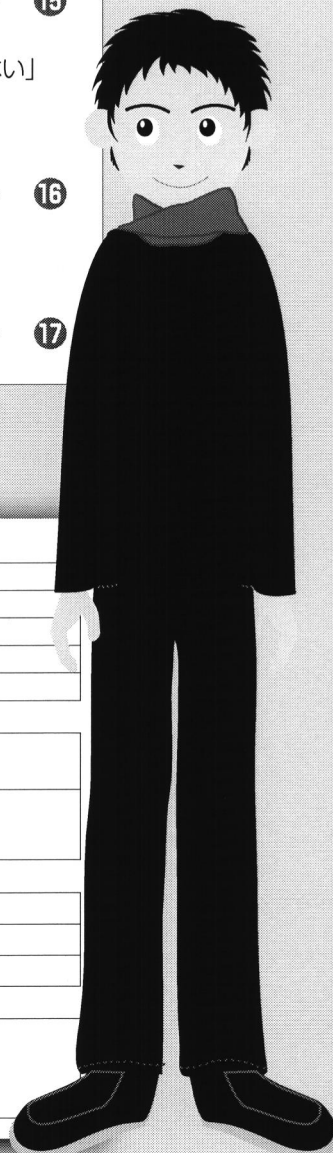
インターンシップについて..... 16

情報不足による不安を抱かないように、まずは的確な情報収集を

興味を抱きながらも、情報不足による不安を抱える学生が多い。

第2章の調査結果の要約と特徴..... 17

履 歴 書			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			





卒業後の進路
希望について

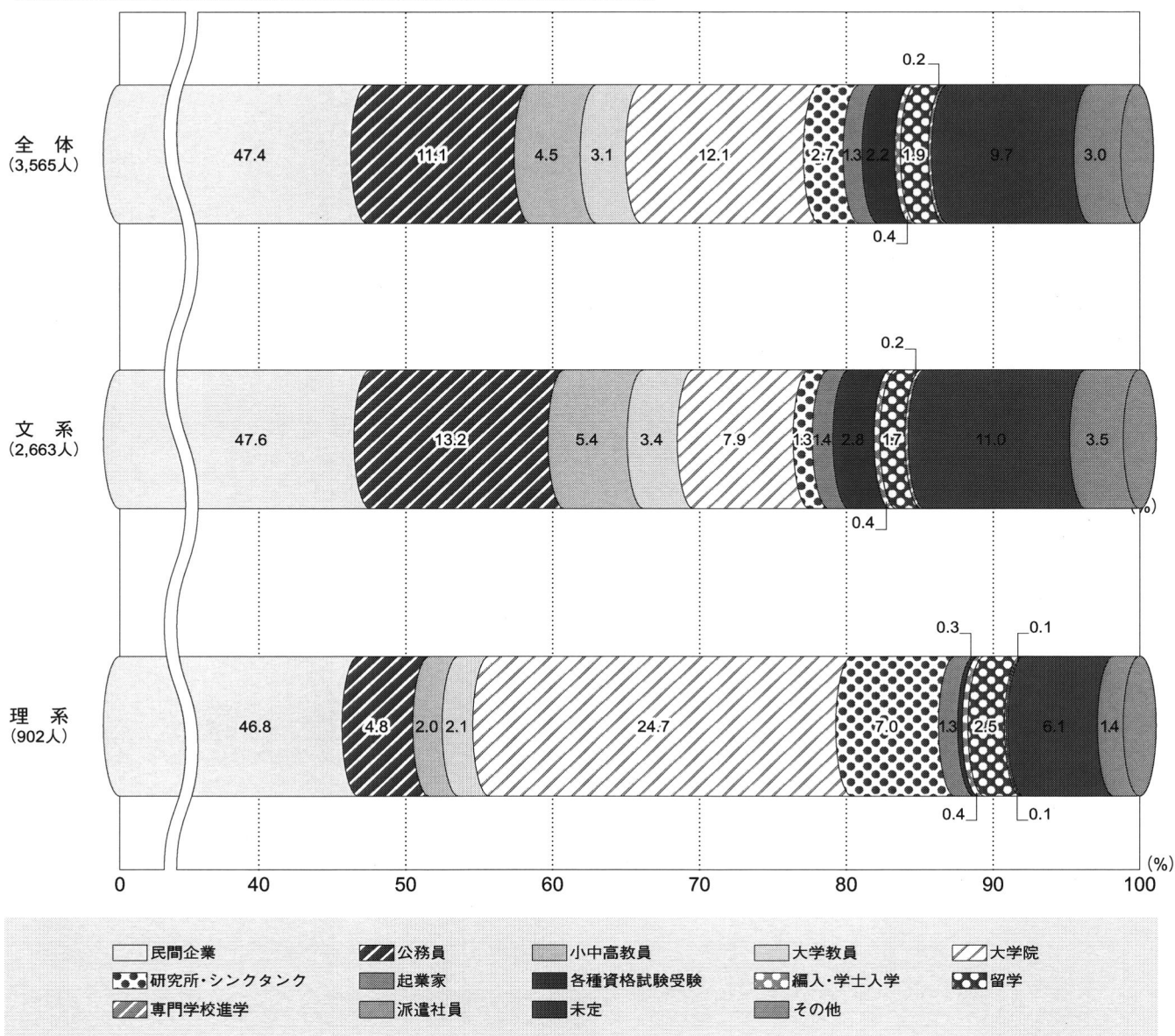
約5割が民間企業への 就職を希望している。



民間企業と回答した学生が**47.4%**と約半数であり、大学院への進学（**12.1%**）、公務員（**11.1%**）に比べて民間企業を希望する学生が多いことがわかります。

文系・理系で比較すると、民間企業を希望する学生の割合の差はほとんどありませんが、文系は公務員を希望する学生が13.2%と、理系の4.8%と比較して多く、また、理系は大学院への進学を希望する学生が24.7%と、文系の7.9%と比較して多いことがわかります。

学部・研究科卒業後の進路はどうしたいと考えていますか？



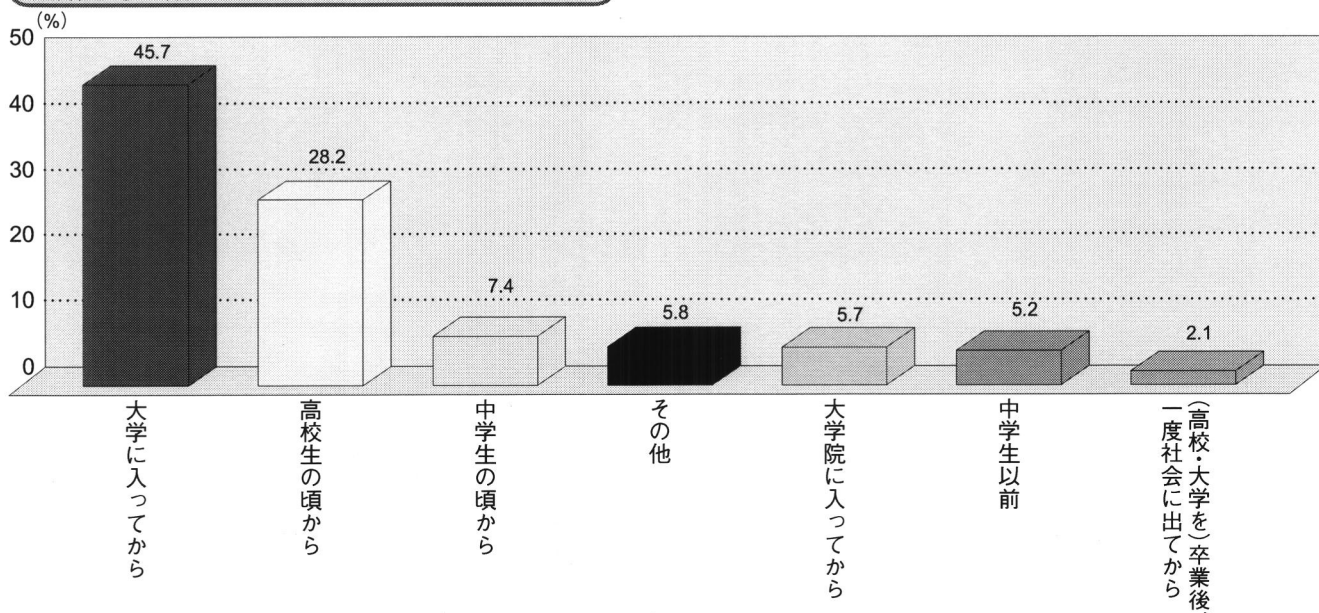


将来の進路を決めるのは 大学に入ってからが多い

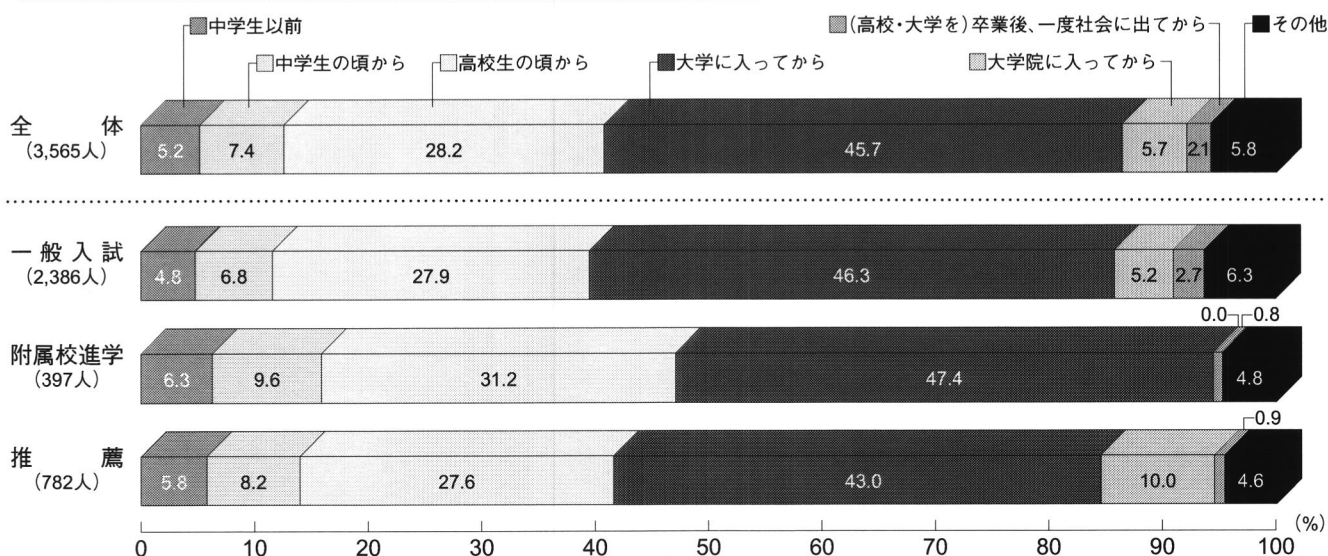


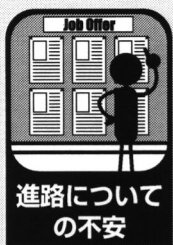
学生が進路を考え始めた時期は、大学に入ってからが**45.7%**と最も多く、次に高校生の頃からが、**28.2%**となっています。大学におけるキャリアプランの形成が人生を設計するうえで重要なことが分かります。進路決定時期は、例年「大学に入ってから」という回答が多いですが、附属校からの進学者はより早い段階で将来設計を始める傾向があります。

進路を考え始めたのはいつくらいからですか？



進路を考え始めたのはいつくらいからですか？ 入学形態別





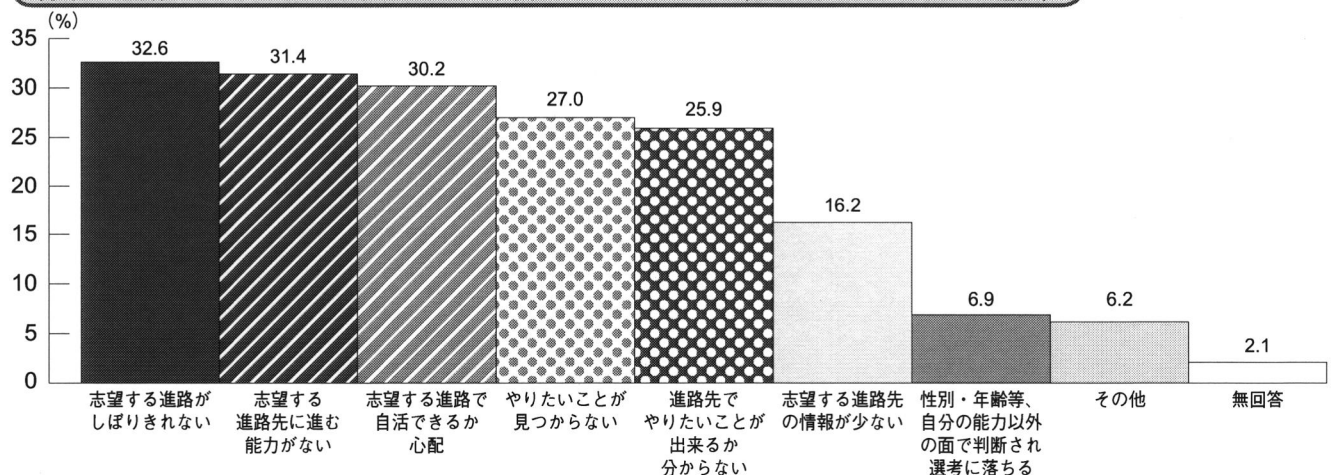
進路について不安に思う学生が多い



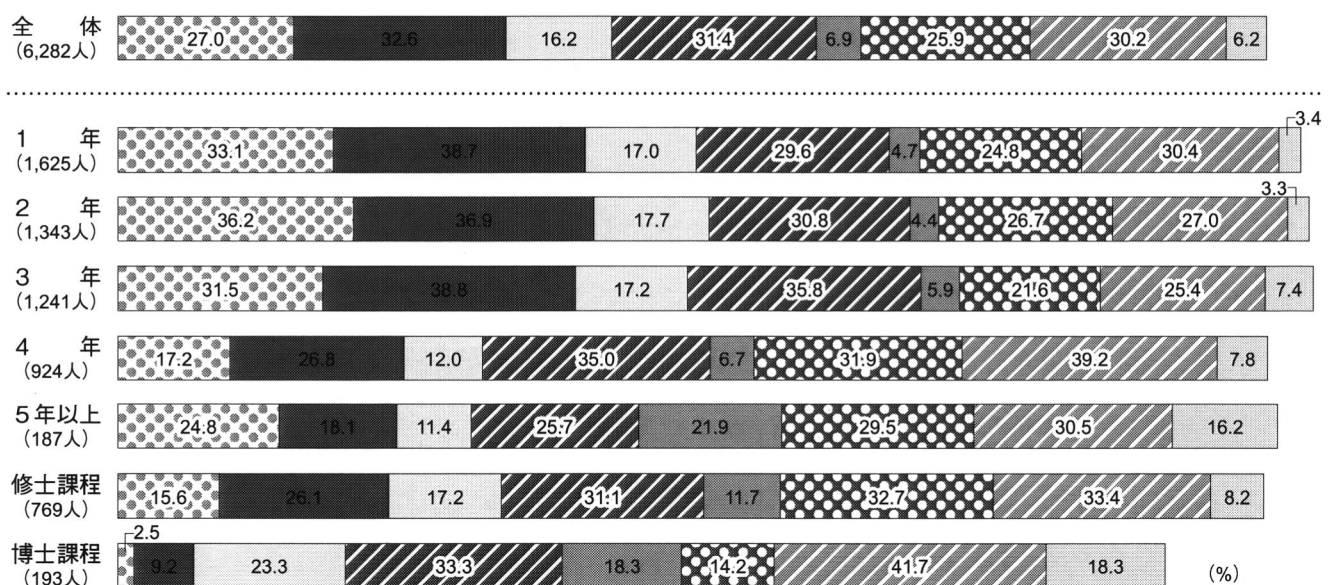
「志望する進路がしぼりきれない」を選択した学生が**32.6%**、志望する進路先に進む能力がない」が**31.4%**と、多くの学生が不安を抱えていることがうかがえます。

また、進路についての不安は3年生をピークに多くなるようです。

将来の進路についてどのようなことが不安になりますか？（主なものを2つまで選択）



将来の進路についてどのようなことが不安になりますか？（主なものを2つまで選択） 形式学年別



■やりたいことが見つからない ■志望する進路がしぼりきれない □志望する進路先の情報が少ない
■志望する進路先に進む能力がない ■性別・年齢等、自分の能力以外の面で判断され選考に落ちる
■進路先でやりたいことが出来るか分からない ■志望する進路で自活できるか心配 □その他



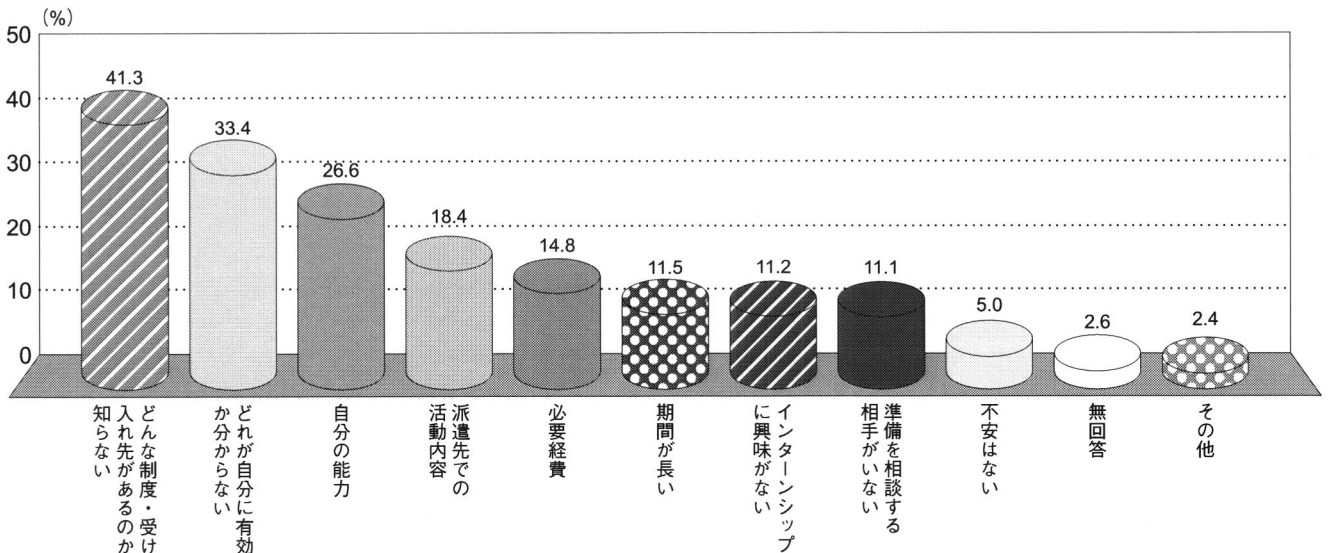
情報不足による不安を抱かないように、 まずは的確な情報収集を



インターンシップに興味を抱きながらも、情報不足による不安を抱える学生が多い。

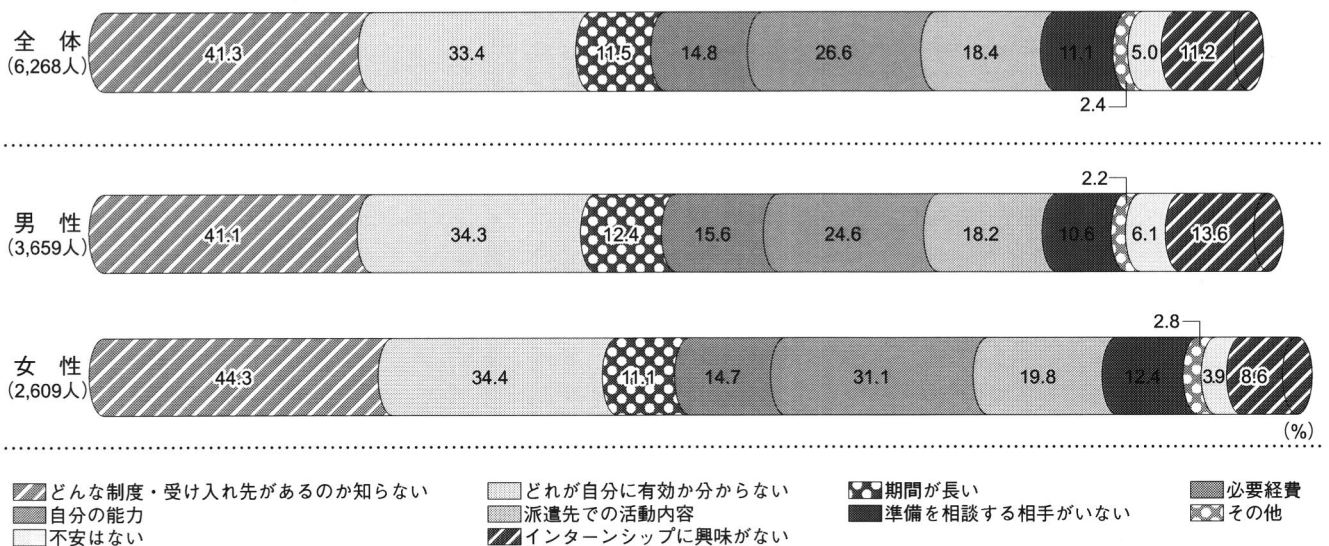
男性は女性より興味を持っていないようです。女性は興味がありつつも、自分の能力で対応できるか心配していることがうかがえます。

もしあなたがインターンシップを行うとすれば、インターンシップについて、以下に挙げる点で不安になる・躊躇する要素はありますか？（主なものを2つまで選択）



もしあなたがインターンシップを行うとすれば、インターンシップについて、以下に挙げる点で不安になる・躊躇する要素はありますか？（主なものを2つまで選択）

男女別



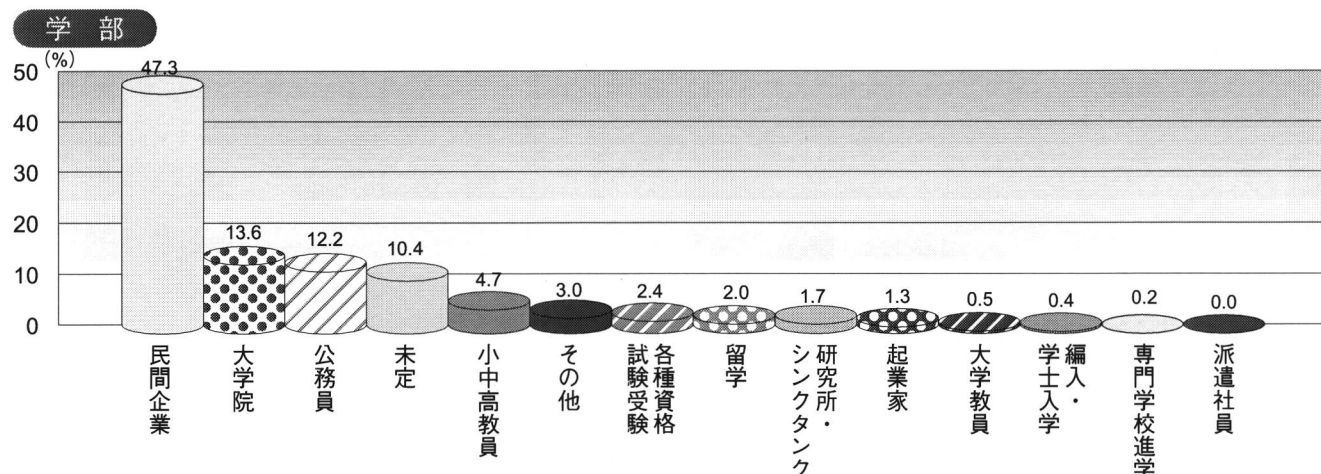
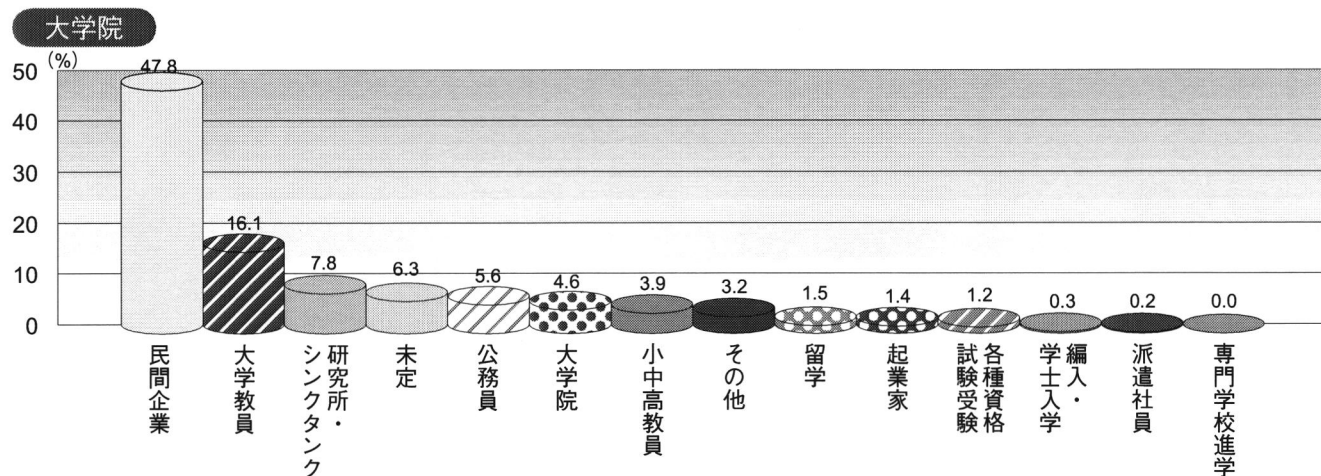
第2章 調査結果の要約と特徴

卒業後の進路の希望については、民間企業と回答した学生が47.4%と約半数であり、民間企業を希望する学生が多いことがわかります。なお、2004年度から2010年度までの各年度の値は37.8%、37.4%、38.8%、39.5%、46.3%、41.7%、45.9%のように推移しておいます。このことから、2008年9月のリーマンショックにより、2009年度において一時的に下がったと思われますが、近年の傾向として民間企業を希望する割合が増加していることがわかります。なお、文系・理系による

民間企業の希望の割合は、文系が47.6%、理系が46.8%であり、その差はほとんどありませんでした。

文系は公務員を希望する学生が13.2%と、理系の4.8%と比較して多いことがわかります。また、理系は大学院への進学を希望する学生が24.7%と、文系の7.9%と比較して多いことがわかります。なお、希望する進路が未定の割合は文系が11.0%、理系が6.1%と理系の方が進路の希望ははっきりしていることがわかります。

学部・研究科卒業後の進路はどうしたいと考えていますか？



学生が進路を考え始めた時期については、大学に入ってからが45.7%と最も多く、つぎに高校生の頃からが、28.2%となっています。大学におけるキャリアプランの形成が人生を設計するうえで重要なことが分かります。

なお、入学形態別に比較した場合、中学生以前

に意識した学生が全体の5.2%、中学生の頃からが7.4%、高校生の頃からが28.2%、附属校からの進学で中学生以前に意識した学生が6.3%、中学生の頃から9.6%、高校生の頃からが31.2%と、総じて附属校から進学する学生の方が進路を考え始める時期が早いことがわかります。

将来の進路については、「志望する進路がしほりきれない」を選択した学生が32.6%、「志望する進路先に進む能力がない」が31.4%、「志望する進路で自活できるか心配」が30.2%、「進路先でやりたいことが出来るか分からない」が25.9%など（回答は主なものを2つまで選択）、多くの学生が不安を抱えていることがうかがえます。

学年別にみると、「志望する進路先に進む能力がない」の項目について、1年生が29.6%、2年生が30.8%、3年生が35.8%、4年生が35.0%と、3年生をピークに学年が上がるにつれ増加する傾向にあります。就職活動を行う上で、自分の能力について悩むことが多いようです。また「性別・年齢等、自分の能力以外の面で判断され選考に落ちる」の項目について、1年生が4.7%、2年生が4.4%、3年生が5.9%、4年生が6.7%と、能力以外の部分についても、就職活動を行いこのように感じる経験

があったものと思われます。

インターンシップについて感じる不安としては、「どんな制度・受け入れ先があるのか知らない」の回答が41.3%、「派遣先での活動内容」が18.4%など情報の不足による不安があることが分かります。なおインターンシップについてはキャリアセンターにおいて情報を提供しておりますので、不安をお持ちの方はキャリアセンターを利用することをおすすめします。

またインターンシップにおける性別による考え方の違いについて、「インターンシップに興味がない」の項目は、男性が13.6%、女性が8.6%と、男性の方が興味のない割合が高くなっております。また、「自分の能力」が不安と考える学年は、男性が24.6%、女性が31.1%と、女性は興味を持ちながらも自分の能力において不安をいだいている傾向があるようです。